

令和6年度第1回岐阜県入札監視委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年8月9日（金）13：30～15：10

2. 場所：岐阜県シンクタンク庁舎 5階 大会議室

3. 出席者

（委員）

浅野 礼美子 氏	（岐阜聖徳学園大学経済情報学部准教授）
井上 吉博 氏	（岐阜新聞社統合編集局報道本部長兼報道部長）
大野 正博 氏	（朝日大学法学部教授）
鋳口 崇 氏	（弁護士）
小森 美香 氏	（税理士）
筒井 和浩 氏	（日本労働組合総連合会岐阜県連合会会長）
豊田 千里 氏	（岐阜家庭裁判所家事調停委員）
廣岡 佳弥子 氏	（国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学准教授）

4. 議題

（1）県発注建設工事、資格停止の運用状況等について

（2）抽出事案に関する説明・審議

- ・公共社会資本整備総合交付金事業（防災・安全）長良川系 No. 5 污水ポンプ機械設備（再構築）工事（債務）
- ・岐阜メモリアルセンター非常用発電機設備更新工事
- ・県営湛水防除事業 鵜森地区 排水機場第15期（旧機場撤去等）工事
- ・中濃特別支援学校擁壁地盤沈下対策工事
- ・復旧治山事業荒倉洞地区工事（ゼロ国）
- ・公共道路災害復旧事業（債務）（主）乗鞍公園線（仮称）乗鞍トンネル1期工事

5. 議事要旨

（1）県発注建設工事、資格停止の運用状況等について

質疑等なし

（2）抽出事案に関する説明・審議について

【公共社会資本整備総合交付金事業（防災・安全）長良川系 No. 5 污水ポンプ機械設備（再構築）工事（債務）】（流域浄水事務所）

(委員)

ポンプはどのくらいの周期で更新するのですか。

(説明者)

標準耐用年数の2倍の30年を目安として更新しています。

(委員)

前回のポンプ工事はどれくらいかかりましたか。

(説明者)

過去に長良川系 No. 5 汚水ポンプと同程度の能力のポンプを更新した実績はありません。

【岐阜メモリアルセンター非常用発電機設備更新工事】（地域スポーツ課）

(委員)

故障によって更改したということですが、故障でなく更改年数までもったとしたら何年くらいもつのですか。

(説明者)

平成元年度に設置しており、そこから一度も交換していません。本来であれば、財務省の耐用年数の基準からすると大きく年数を超えています。

(委員)

9 ページに基準比較価格と失格判断基準が記載してありますが、どのように計算していますか。

(説明者)

直接工事費と間接工事費等に分けて、それぞれに率をかけて合算しており、全て一律の率を乗じているわけではありません。岐阜県建設工事低入札価格調査等に関する要領に基づいて計算しています。

(委員)

非常用発電機設備とありますが、非常用であり、常に使っているものではないということですか。

(説明者)

中部電力から受電している高圧電力を使っており、それがシャットアウトした時にこちらを使って、最低限の設備環境に電気供給をしています。

(委員)

どれくらいの頻度で使用していますか。

(説明者)

消防法などで、電気の検査が定められており、年に1回非常用の設備が稼働しているかを確認して、また休止に入ります。

(委員)

検査以外には使うのですか。

(説明者)

使用した事例はありません。

【県営湛水防除事業 鵜森地区 排水機場第15期(旧機場撤去等)工事】(西濃農林事務所)

(委員)

地元からの要求により、3月に着工しなければならないことや国補正などの理由により、指名競争となったとの説明がありました。

県の都合により、工事発注時期がこのタイミングとなり、入札辞退が多くなったと思いますが、どのように考えていますか。

(説明者)

この工事の他にも、今まで工事を実施しており、例えば、同様の土木一式工事として、第8期工事があります。

この工事は、一般競争入札を行いましたが入札参加者は2者でした。技術者の配置、施工場所、施工体制などが辞退理由としてありますが、その他にも、聞き取りの結果では、積算の結果、採算が合わないというものもありました。結果として、総合的に、入札ができない要因が重なってしまったものかと考えています。

【中濃特別支援学校擁壁地盤沈下対策工事】(中濃特別支援学校)

(委員)

1回目の入札不調を踏まえ2回目の入札で、条件の変更や見直しはせず選定業者の範囲を広げたのはなぜですか。

(説明者)

1回目の結果を踏まえ業者に聞き取りをしたところ、H型鉄鋼杭の打込みのための重機の乗り入れやそれに伴う市道の全面通行止め、工事個所に上下水道管が埋設されていることなど規模的に工事が難しいとの話でしたが、それが直ちに仕様書や予定価格の見直しにつながるという判断はしておらず、競争性確保の観点から、2回目の入札は幅広く多くの業者を選定することとしました。

(委員)

最終的に2回目に応札のあった業者と随意契約をしていますが、2回目の入札結果をもって決定とせず、随意契約としたのはなぜですか。

(説明者)

2回目の入札は1者のみの応札ということで、競争性に欠けるなど公平性の観点から不調としました。その上で、改めて3回目の入札を考えましたが、契約時期を失するなど時間的な都合があったため、2回目に応札のあった業者と随意契約をしました。

(委員)

2回目の入札応札金額は7,030,000円とありますが、随意契約とした契約金額8,470,000円との違いは何ですか。

(説明者)

応札金額は税抜表示に対し、契約金額は税込表示です。随意契約に移行する際、改めて精査された見積書の提出がありました。応札金額と比べ若干の金額の増額ではありますが、予定価格の範囲内であったため、見積額での契約としました。

【復旧治山事業荒倉洞地区工事（ゼロ国）】（郡上農林事務所）

(委員)

参加資格要件を郡上圏域に限っているにも関わらず、この入札には7者と、他の案件に比べて、多くの入札参加者がありましたが、郡上には入札参加要件を満たす業者が何者ありますか。また、多くの参加者が集まった理由は何ですか。

(説明者)

郡上市内で、入札参加要件を満たすAランク業者は、45者です。また、当該工事は、特別な技術や配慮を必要としない、治山事業としては一般的な工事であり、事業者にとって参加しやすかったことが理由と考えられます。

【公共 道路災害復旧事業（債務）（主）乗鞍公園線（仮称）乗鞍トンネル1期工事】（砂防課）

(委員)

トンネルの3分の2くらいを今回工事し、残りの3分の1を改めて入札するということは、別の事業者も入ってくることはありますか。

(説明者)

入札で決定するので、別のJVが入ることもあり得ます。

(委員)

1期工事と2期で分けるのは、どういった意味がありますか。1本で実施しないのは施工方法が違うからでしょうか。

(説明者)

施工方法は同じですが、トンネルを掘削すると残土が発生し、仮置きするスペースが必要となります。仮置きするスペースが1期工事分しか確保できておらず、残土置き場が確保できないと工事が発注できないため、2本に分けています。

(委員)

工期が24か月ありますが、2期工事分ですか。

(説明者)

現在発注している1期工事分です。

【全体について】

(委員長)

報告の内容や審議した対象工事について不適切な点又は改善すべき点がある場合、知事に対して意見の具申をできることとなっていますが、今回、意見は特になしということによろしいでしょうか。

(出席委員全員)

異議なし。